

あ と が き

北海道立衛生研究所報第59集をまとめることができましたので、ここに報告いたします。当所の設置は昭和24年（1949年）ですので、本年で60年となりますが、所報第1集は昭和26年（1951年）に刊行されました。

今回は、「調査報告」、「ノート」を中心に編集いたしました。少しでも皆様のお役に立てば、幸いに存じます。

なお、本年4月前後からのパンデミック（H1N1）2009インフルエンザ（いわゆる新型インフルエンザ）の発生は、世界的な問題となり、今日に至っております。北海道では現在のところ、当所と札幌市衛生研究所の2機関で遺伝子検査を行っております。この度、全数検査が行われていた7月下旬までの対応を本所報に共同で「ノート」として載せることができました。本道は、他の地域に比較し広大な面積を有しますが、その主な検査状況を把握することが可能でした。新興・再興感染症を含むその他の人に対する健康危機状況の発生に対しても、検査体制の充実はもとよりですが、医療機関・保健所・行政などを含む中身のある協力体制のさらなる向上が今後とも大きな意味を持つものと思われまます。

おわりに、本所報発行にあたり、関係者の皆様及び所員各位のご協力にお礼するとともに、査読・校正に関して所内各委員の尽力があったことを申し添えます。

（岡野記）

所 報 編 集 委 員

委員長	岡 野 素 彦			
委 員	神 和 夫	高 橋 哲 夫	伊 藤 八十男	
	長 南 隆 夫	兼 俊 明 夫	新 山 和 人	
	工 藤 伸 一	山 口 敬 治	長 野 秀 樹	
	高 橋 健 一	加 藤 芳 伸	山 野 公 明	
校正委員	姉 帯 正 樹	石 田 勢 津 子	市 橋 大 山	
英文校正委員	工 藤 伸 一			
事務局	桂 英 二	中 野 道 晴	横 山 裕 之	